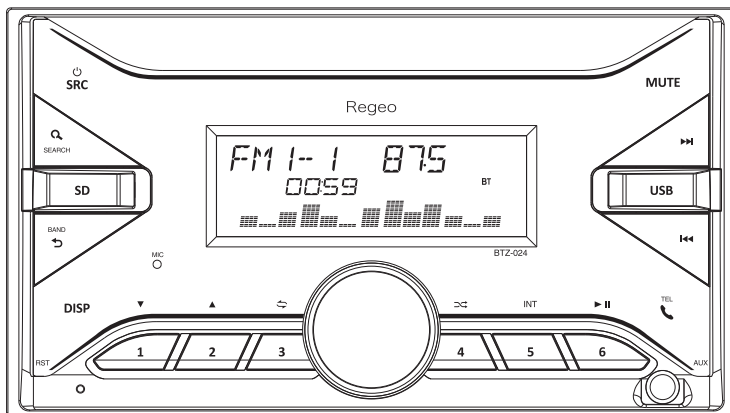


Regeo

取扱説明書

2DIN Bluetooth/RADIO/SD/USBメインユニット

BTZ-024



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本書（取扱説明書）をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

目次

はじめにお読みください

安全上のご注意	1-3
使用上のご注意	4
商品構成一覧表	5
各部の名称と機能	6-9
基本操作	10
RADIO(FM/AM)の操作	11-12
SD/USBの操作	13
Bluetoothの操作	14-15
メニュー設定	16-17
WUBWOOFER 設定	18
時刻/工場出荷 設定	19
配線図	20
本体の設置方法	21
トラブルシューティング	22
その他	23-26
製品仕様	27

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。



免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や使用による損害によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類を使用した場合による、本機の動作異常、故障について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 市販製品のディスクやメモリデバイス等の破損または故障について、弊社は一切の責任を負いかねます。




安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明します。


 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明します。(次は図記号の例です)


	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、ご購入店にご依頼ください。
(規定容量: 10A)


運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。


取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けたら、事故の原因になります。


運転者は走行中に操作をしない、また表示物を注視しない

 走行中の操作や表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)



注意

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V⊖ マイナスアース車で使用する。

- ⚠ DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

- 🚫 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- 🚫 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 🚫 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- 🚫 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

- 🚫 車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

指示に従って正しく配線・取付を行う

- ❗ 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス ⊖端子を外しておく


- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)




注意

本機の通風孔を塞がない


 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
禁止

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する


 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。


車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。
禁止


強い衝撃を与えない

 落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。
禁止


コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。
禁止


必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。
禁止

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。
禁止

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

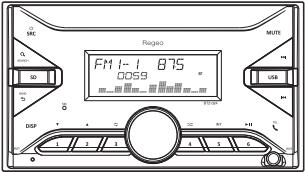
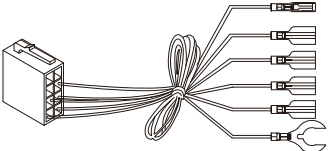
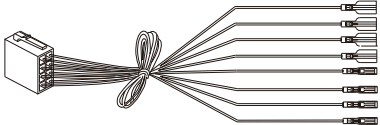

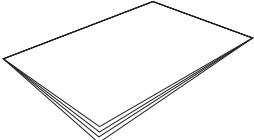
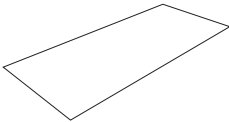
 傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。
禁止

使用上のご注意

- 本機を使用する場合、必ず車のエンジンをかけてください。車のイグニッションスイッチがON（ACC ON）の状態が長時間使用しないでください。バッテリー上がりの原因となります。
- 本製品に付着した汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。シンナー・ベンジン・クリーナー等の揮発性の含まれている溶剤、研磨剤の含まれている物は使用しないでください。
- ケーブル類の接点汚れしている場合は、本体が動作しなくなる可能性があります。ケーブル類の接点はきれいにしてから使用してください。
- 本製品は精度の高い部品で構成された精密機器です。取り扱いには十分ご注意ください。
- 全てのSD/USB デバイスを保証するものではありません。接続しても認識しない場合は他のデバイスに取り替えてください。
- サブウーファー等外部機器を接続した場合、外部機器の破損、故障について、弊社は一切の責任を負いかねます
- 本体取り付け時、付属品のネジ以外を使用すると、内部構造を傷つけたり、車両ブラケットから外れる可能性がありますので、必ず付属品ネジをご使用ください。
- 特に夏場など、車内温度が高くなった場合、保護回路が働いて各ソースが停止状態になったり、再起動する場合があります。その場合は、車内の温度を下げたあと、電源をオンしてください。
- SD/USB デバイスを車内に放置しないでください。直射日光や高温の影響により故障、破損の原因となります。
- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 日本国内のみで使用してください。
- 海外では使用できません。海外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
- 本機の使用周波数帯（2.4GHz/5GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 下記の電子機器との距離が近い場合、電波干渉により、正常に動作しなくなる場合があります。また、ノイズが生じる場合があります。
→2.4GHz の周波数帯域を使用する電子レンジ、コードレス電話、無線 LAN 機器等
→テレビ（BS/CS チューナー含む）、ラジオ、ビデオ等の AV 機器等
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、サービスセンターに御連絡いただき、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合等何かお困りのことが起きた時は、サービスセンターへお問い合わせください。
- 本体の技術基準適合証明ラベルを剥がさないでください。剥がして使用した場合、電波法により罰せられることがあります。
- 分解したり、改造したりすることは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 本機は電波を使用していることから、第三者が故意または偶発的に傍受することが考えられます。重要な通信および人命に関わる通信には使用しないでください。
- 本機内蔵の通信用アンテナは、植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングバルスジェネレーター、植込み型除細動器以外の医療用電気機器をご使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

商品構成一覧表

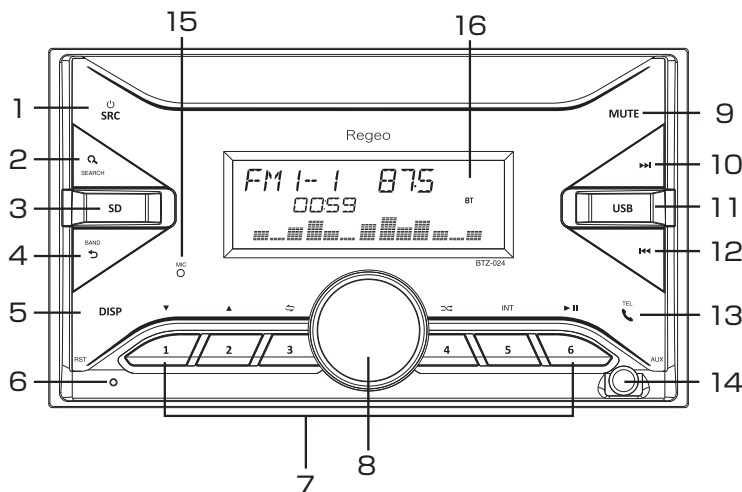
本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。
万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店又はご購入店までご連絡ください。

<p>■ 本体</p> 	<p>■ 電源ケーブル</p> 
<p>■ スピーカーケーブル</p> 	<p>■ 固定用ネジ(8本)</p> 
<p>■ 取扱説明書</p> 	<p>■ 保証書</p> 

- 付属品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

各部の名称と機能

本体



各部の名称とボタン機能

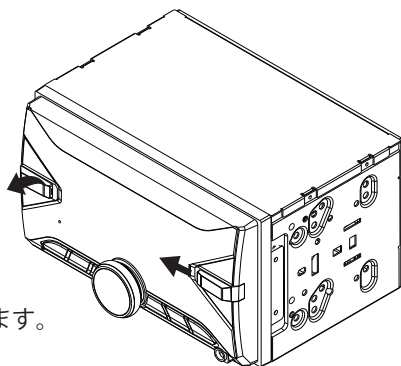
名称	機能
1.POWER/SRC	<p><電源 ON 時> 短押し：ソースを切り替えます 長押し：電源を OFF します <電源 OFF 時> 短押し：電源を ON します</p>
2. 🔍 /SEARCH	<p><RADIO ソース> 長押し：放送局をサーチ後、プリセットチャンネルメモリーします <SD/USB ソース> トラックダイレクトサーチ</p>
3.SD カードスロット	<p>microSD カードを挿入します ※microSD カード内に保存されているファイルを再生することができます</p>
4. 🔄 /BAND	<p><RADIO ソース> FM/AM バンドを切り替えます <設定メニュー> 一つ前の階層に戻ります</p>

各部の名称と機能

SD/USB差し込み口

SD/USBを差し込む際は、各部の蓋を開けて使用してください。

[microSD]
カバーを手前に引っ張ります。



[USB]
カバーを左にスライドします。

各部の名称と機能

名称	機能
5. DISP	表示内容（情報、時刻）を切り替えます
6. RESET	各ボタン等が正しく動作されない場合、約3秒間押し続けると工場出荷状態にリセットされます
7. 数字キー	<p>数字ボタン<1> <SD/USBソース> 短押し：フォルダーを一つDOWNします <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局1へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p> <p>数字ボタン<2> <SD/USBソース> 短押し：フォルダーを一つUPします <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局2へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p> <p>数字ボタン<3> <SD/USBソース> 短押し：リピート[ALL/FOLDER/ONE]を切り替えます <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局3へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p> <p>数字ボタン<4> <SD/USBソース> ランダム ALL/OFFを切り替えます <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局4へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p> <p>数字ボタン<5> <SD/USBソース> 短押し：INT(イントロ) ON/OFFを切り替えます ※曲の先頭10秒のみを再生します <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局5へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p> <p>数字ボタン<6> <SD/USB/Bluetooth Audioソース> 短押し：再生中=一時停止、一時停止中=再生 <RADIOソース> 短押し：登録されている放送局6へ切り替えます 長押し：チャンネルを登録します</p>



各部の名称と機能

名称	機能
8. ロータリーキー	<p><RADIO/Bluetooth AUDIO/SD/USB/AUXソース></p> <ul style="list-style-type: none"> ●左右に回す：音量を調節します ●センタープッシュ：設定メニューへ切り替えます ※詳細はP.16を参照してください <p><Bluetooth TEL></p> <ul style="list-style-type: none"> ●左右に回す：通話、発着信音量を調節します <p><設定メニュー></p> <ul style="list-style-type: none"> ●左右に回す：メニュー項目を選択します ●センタープッシュ：決定します
9. MUTE	<p>ミュート(消音)します ※もう一度押すと、ミュートが解除されます</p>
10・12. ◀▶▶▶	<p><Bluetooth AUDIO/SD/USBソース></p> <p>短押し：前の/次の曲へ進みます 長押し：早戻し/早送りをします ※BT MUSICソースのみ早戻し/早送りは無効</p> <p><RADIOソース></p> <p>短押し：周波数をマニュアルでアップダウンします (FM:0.1MHz/AM:9kHz) 長押し：周波数をオートサーチします</p>
11. USB挿入口	<p>USBデバイスを挿入してファイルの再生ができます ※携帯電話、タブレットなどのUSB接続は非対応</p>
13. ☎(TEL)	<p>発信中：発信をキャンセルします 着信中：通話を開始します 通話中：通話を終了します</p>
14. AUX	<p>外部機器(AUX)を接続します ※φ3.5mmステレオミニジャックをお使いください</p>
15. MIC	<p>Bluetooth TEL通話時、MICに向けて通話してください</p>
16. DISPLAY	<p>各ソースの情報または時刻を表示します</p>

基本操作

基本の操作手順

電源を入れる

本体の「 SRC」を短押ししてください。
電源がオンの場合、「 SRC」を長押しすると電源が切れます。


音量を調整する

本体のロータリーキーを使用して音量を調整します。
右回転で音量アップ、左回転で音量ダウンできます。


ミュート(消音)する

再生中、本体の「**MUTE**」ボタンを短押しすると、ミュート(消音)になります。
解除する場合は、再度「**MUTE**」ボタンを押します。または、ソースを切替え、ボリューム操作により解除されます。
ミュート中に電源をOFF→ONするとミュートは解除されます。

ソースを切替える

電源がオンの場合、本体の「 SRC」ボタンを短押しすると、ソースを切替えることができます。
RADIO (FM/AM)→USB→SD→AUX IN→BT AUDIO…
※USB、SDは各デバイス接続時のみ切替え可能となります

AUXを使用する

「 SRC」ボタンを押して、AUXソースを選択します。
φ3.5mmのステレオミニジャックケーブルを接続することで、外部機器からの音声を本体から出力させることができます。
※ケーブルを接続する際は、ノイズが発生する可能性がありますので、音量を下げた状態で行ってください

DISPLAY(液晶)表示

DISPLAYには、各ソースの時間や周波数、再生中の曲情報、時刻などを表示します。
※日本語はサポートしておりません(英数字のみ)



RADIO (FM/AM) の操作

RADIO (FM/AM) の操作手順

BANDを切替える

RADIO (FM/AM) ソースで、本体の「BAND」ボタンを押して、BAND (FM1, 2, 3/AM1, 2) を切替えます。
選択されたBANDが液晶に表示されます。


マニュアル保存する



1. 本体の「 」ボタンで聞きたい周波数を選択してください。
現在の周波数がDISPLAYに表示されます。
2. 聞きたい周波数を選択した後、本体の1～6の数字ボタンを長押しして、保存します。
例: 1に保存したい場合、保存したい周波数を選択後、本体の1ボタンを長押しします。
3. 保存した放送局を呼び出す場合、本体の1～6ボタンで呼び出したい番号を押してください。
※放送局の保存は1BAND (FM/AMそれぞれ) につき、6局まで保存できます

放送局を自動検索する

RADIO (FM/AM) ソースで、本体の「 」ボタンを長押しすると、オートサーチとなります。


: 現在の番組よりも低い周波数の放送局を検索します

: 現在の番組よりも高い周波数の放送局を検索します

「 」ボタンを短押しすると、マニュアルアップダウンができます。

※周波数ステップ=FM:0.1MHz/AM:9kHz

放送局の自動保存をする





「」ボタンを長押しすると、自動的に現在のBANDをスキャンした後、スキャンできた6つの局(低い周波数から順番で6局まで)を1～6に保存します。

※前回保存された放送局に上書きされます

RADIO(FM/AM)の操作

RADIO(FM/AM)のボタン動作

RADIOの操作

ボタン	操作	機能
BAND 	短押し	BANDを切り替えます
SRC 	短押し	ソースを切り替えます
	長押し	電源ONの場合、電源をOFFに切り替えます
	短押し	周波数をマニュアルでアップダウンします (FM:0.1MHz/AM:9kHz)
	長押し	現在の放送局の前または後の聴取可能な放送局をオートサーチします
DISP	短押し	時計/周波数表示を切り替えます
MUTE	短押し	ミュート(消音)をします
 SEARCH	長押し	自動的に現在のBANDをスキャンした後、スキャンできた6つの放送局(低い周波数から順番に6局まで)を保存します
1.2.3.4.5.6 数字キー	短押し	保存されている放送局を選択できます
	長押し	現在の放送局をプリセット(登録)ができます

SD/USBの操作

SD/USBのボタン操作

SD/USBを聴く

microSDカードまたはUSBメモリが接続されている状態で本体の「 SRC」ボタンを押して、SD/USBソースに切り替えます。

※各デバイスに再生可能な音楽ファイルを保存してください

SD/USBの操作

ボタン	操作	機能
	—	無効
 SRC	短押し	ソースを切り替えます
	長押し	電源ONの場合、電源をOFFに切り替えます
	短押し	前/次の曲を選択します
	長押し	早戻り/早送りをします
DISP	短押し	時計/全情報/再生時間/ファイル情報/トラック情報を切り替えます
MUTE	短押し	ミュート(消音)をします
 SEARCH	短押し	トラックダイレクトサーチボタンを押して、ロータリーボリュームを回して、トラックを選択します。
1.数字ボタン	短押し	フォルダーを一つダウンします
2.数字ボタン	短押し	フォルダーを一つアップします
3.数字ボタン	短押し	リピート(ALL/FOLDER/ONE)設定を切り替えます
4.数字ボタン	短押し	ランダム 設定を切り替えます
5.数字ボタン	短押し	INT(イントロ) 再生します ※曲の先頭10秒のみをダイジェスト再生
6.数字ボタン	短押し	再生中 : 一時停止します 一時停止中 : 再生します

※DISPLAYに表示できる文字は半角大文字/英数字/記号(+X_、..*)のみ
上記以外の全角、記号などの文字は「*」で表示されます

Bluetoothの操作

Bluetooth TELの接続、使用操作

Bluetooth TELの使い方

本機とBluetooth対応の携帯電話機をBluetooth接続することが可能です。

接続方法

1. 携帯電話からBluetooth機器のサーチをおこなうと、「BTZ-024」と表示されます。
2. 「BTZ-024」を選択すると、ペアリング(接続)が完了します。
 - ※本機側から接続することはできません
 - ※一度、本機と接続が完了すると、本機の電源をオフからオンされた後、自動的にペアリングします
 - ※本機と携帯電話を接続したくない場合は、携帯電話側のBluetoothを[OFF]にしてください

本体での操作

着信が入った時に通話状態にする場合	「  (TEL)」を短押しします
通話を切断(終了)をする場合	「  (TEL)」を短押しします
発信中に発信をキャンセルする場合	「  (TEL)」を短押しします

ご注意

- 通信回線(3G、4G、5G等)の契約がされている携帯電話でBluetooth接続をしてください。
- 通話機能があるアプリケーションでは、本機による通話等は動作保証外となります。また、そのようなアプリケーション動作中、期待した動作にならない場合があります。
- 携帯電話側の詳しい操作方法は、携帯電話メーカーにお問合せください。

Bluetoothの操作

Bluetooth AUDIOのボタン操作

Bluetooth AUDIOを聴く

本機と携帯電話をBluetoothで接続してください。
携帯電話からサーチをおこなうと、「BTZ-024」と表示されます。
「BTZ-024」を選択するとペアリングが完了します。

Bluetooth AUDIOの操作

ボタン	操作	機能
BAND ↺	—	無効
SRC	短押し	ソースを切り替えます
	長押し	電源ONの場合、電源をOFFに切り替えます
◀▶	短押し	前/次の曲を選択します
DISP	短押し	無効 ※時計表示固定となります
6.数字ボタン	短押し	再生中 : 一時停止します 一時停止中 : 再生します


⚠ ご注意

- ご使用されるBluetooth機器の対応プロファイルやバージョン、データ等によっては、期待した動作にならない場合があります。
- 音楽再生用のアプリケーションによっては、期待した動作にならない場合があります。
- 携帯電話側の詳しい操作方法は、携帯電話メーカーにお問合せください。

メニュー設定

メニュー操作

メニュー設定の入り方

1. ロータリーキーをセンタープッシュをすると各メニュー項目を切り替えることができます。
2. ロータリーキーを左右に回すと、各設定値を切り替えることができます。
3. 設定したい項目でセンタープッシュをすると、設定が確定されます（一つ前に戻る場合は「」を押します）。

メニュー項目

設定項目	設定内容	調整値
AUDIO	EQ SETTING 音質を設定します	NATURAL ROCK POP EASY TOP 40 JAZZ POWERFUL
	BASS BOOST 低音ブーストを設定します	OFF LEVEL 1 LEVEL 2
	LOUDNESS 音量ダイナミクスを調整します	OFF LEVEL 1 LEVEL 2
	SUBWOOFER 低音を設定します	設定方法はP.18を参照
	FADER(前後フェーダー) 音場(前/後)を設定します BALANCE(左右バランス) 音場(左/右)を設定します	F:0-13 R:0-13 L:0-13 R:0-13
DISPLAY	DIMMER イルミ連動を設定します	OFF ON

メニュー設定

設定項目	設定内容	調整値
TUNER	LOCAL SET [ON] サーチする際、ノイズの少ない信号の強い放送局を探します	ON
	[OFF] サーチする際、取得可能な放送局を探します (ノイズが多い放送局も取得します)	OFF
SYSTEM	CLOCK 時計の設定をします	設定方法はP.19を参照
	FACTORY RESET 工場出荷状態に戻します	YES NO
	VERSION 本機の情報を表示します	-

SUBWOOFER 設定

カットオフ周波数、レベル設定 操作方法


サブウーファー(カットオフ周波数、レベル)設定

1. SUBWOOFERを選択します
2. 「OFF」からロータリーキーを右に回します。
3. ロータリーキーを選択プッシュすると決定されます。
4. レベル「+1～+2」を設定します。
5. 「80Hz」「120Hz」「160Hz」を選択します。
6. 設定が決定したら「^{BAND}↵」を押して終了します。


時計/工場出荷 設定

時刻設定/工場出荷(リセット)設定 操作方法


CLOCK(時刻)設定

1. CLOCK ADJUSTを選択します。
2. ロータリーキーを左右に回して時間を設定します。
3. ロータリーキーをセンタープッシュすると決定されます。
4. 時刻設定が終わりましたら、「」を押して終了します。
※約6秒間、何も操作されない状態が続くと、時計設定が終了します


DATE FORMAT設定

1. DATE FORMATを選択します。
2. 「DD/MM/YY」「MM/DD/YY」を選択します。
3. 表示が決定したら「」を押して終了します。
※約6秒間、何も操作されない状態が続くと、時計設定が終了します

DATE(日付)設定

1. DATE SETを選択します。
2. ロータリーキーを左右に回して日付を設定します。
3. ロータリーキーをセンタープッシュすると決定されます。
4. 日付設定が終わりましたら、「」を押して終了します。
※約6秒間、何も操作されない状態が続くと、日付設定が終了します

CLOCK FORMAT設定

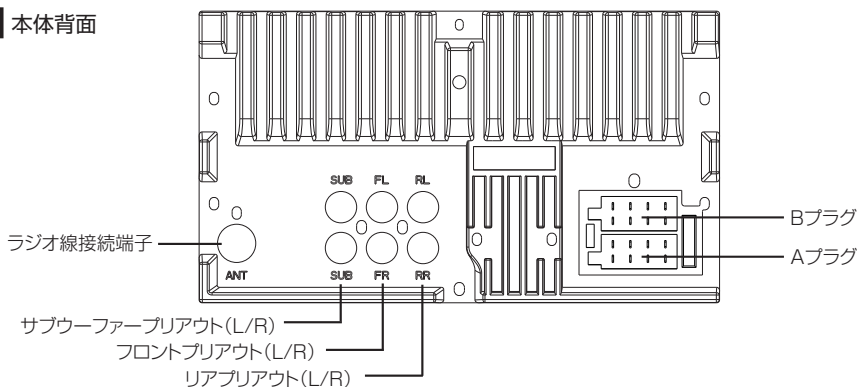
1. CLOCK FORMATを選択します。
2. 「12H」「24H」を設定します。
3. 表示が決定したら「」を押して終了します。
※約6秒間、何も操作されない状態が続くと、日付設定が終了します

工場出荷設定

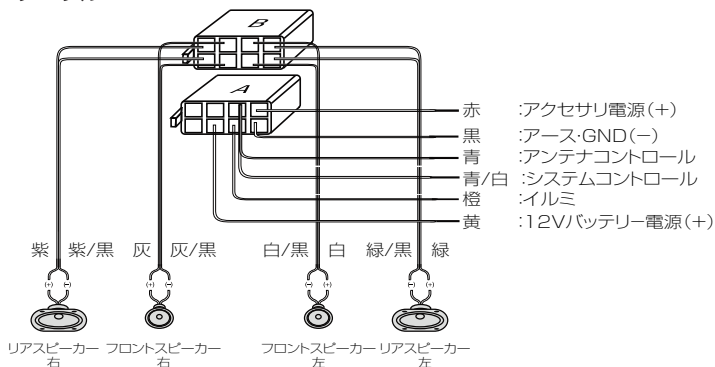
- FACTORY RESET を行うと、本体の設定値が全て初期化されますので、ご注意ください。
※リセット後、本体が再起動します
- 「RST」の穴に細いピンなどを差し込むと工場出荷状態に戻すことができます。

配線図

本体背面



電源 / スピーカーケーブル



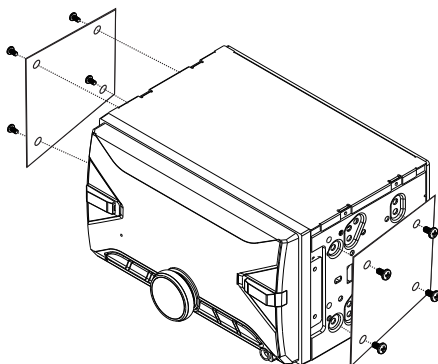
⚠️ ご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディ金属部に接続してください。この時、緩みがないよう、確実に取り付けてください。また、パワーアンプ等の消費電力の大きい製品のアースとは別の場所に取り付けてください。一か所に集中して取り付けると、ネジの緩みや外れる可能性があります、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- アースの取り付け方によっては、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り直しをご確認ください。
- 必ず付属されている部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- コネクターは“カチツ”と音がするまで押し込み確実に接続してください。
- コネクターを取り外す際は、コネクター部分のロックを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張るとコードが切断される可能性があります。
- 外部機器を接続する場合は、外部機器の取扱説明書をよくお読みの上、接続してください。なお、外部機器を接続したことによる破損、故障について、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本体の設置方法

本体の取付、設置方法

1. 車両に付属のブラケットのネジ穴に合わせて取り付け位置を選び、付属の固定ネジでしっかりと固定します。

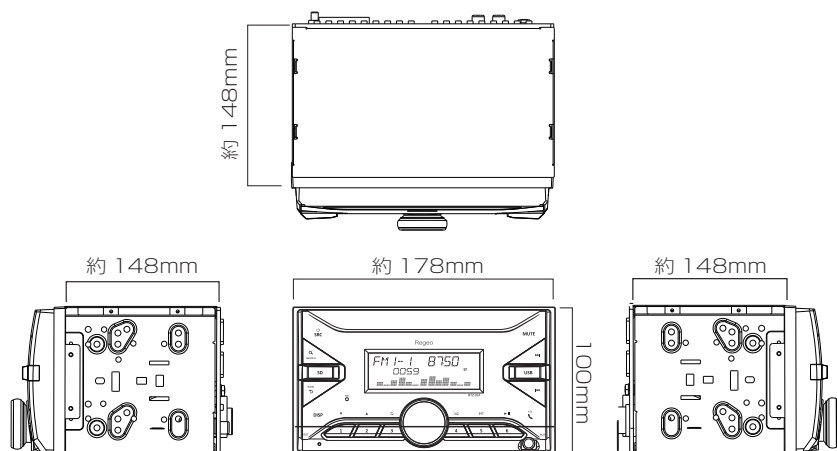


2. 車両の元の位置に取り付けします。

※取り付けは水平に対して、30度以下の角度に取り付けてください

※必ず付属の固定ネジを使用してください

本体の外形寸法図



トラブルシューティング

本機を使用時にもし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されない場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

一般項目

症状	原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルは正しく接続されていますか？ ●ヒューズは切れていませんか？ ●他の機器のノイズを受けていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●配線を確認してください ●ヒューズを交換してください ●本機から他の機器を離してください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ミュートになっていませんか？ ●配線は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミュートを解除してください ●配線を確認してください
音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●ボリュームが小さくないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量をあげてください
前または後ろのスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●前後のバランスは0になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種設定項目からスピーカーの前後左右バランスを確認してください
左または右のスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●左右のバランスは0になっていませんか？ 	

RADIO (FM/AM)

症状	原因	対処方法
電波が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナ/アンテナコントロール線を接続していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナコントロール線を接続してください

USB / SD

症状	原因	対処方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ボリュームは小さくないですか？ ●ミュートになっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボリュームを上げてください ●ミュートを解除してください
再生中ノイズが大きい 再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●フォーマットは正しいですか？ ●圧縮は正しく行われていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●フォーマットを確認してください
メディア再生中 順番が異なる	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファイル名を確認してください

Bluetooth (AUDIO/TEL)

症状	原因	対処方法
Bluetooth通話 ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機とBluetooth接続していますか？ ●バージョンがあってますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機と携帯電話を接続してください ●バージョンを合わせてください
Bluetooth音楽 が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●接続機器に音楽を入れてますか？ ●アプリで再生していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●接続機器へ音楽を入れてください ●アプリからの再生はできません

その他

SD/USBについて

- 本機は、再生可能な音楽ファイルが保存してある microSD カードおよび USB メモリを使用することができます。その場合、各デバイス内にあるデータ等が消失した場合やその他損害の補償については責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- USB メモリ以外の USB ハブや USB 扇風機、モバイルバッテリー等は接続しないでください。
- 接続する USB 機器により、ラジオにノイズの影響を与える場合があります。
- USB 機器や microSD カードを直射日光の当たるところに長時間放置しないでください。変形、変色、故障の原因となります。
- 全ての microSD カードおよび USB メモリーを保証するものではありません。
- 書き込み状況やライティングソフト、ファイルによっては期待した動作にならない場合があります。
- サンプリングレートやビットレートなどにより期待した動作にならない場合があります。その場合は、別の書き込み方法を試してください。
- ファイル再生できない場合、ファイルスキップを行います。ファイルスキップできず、停止状態になる場合があります。その場合は、各デバイスから該当するファイルを削除することをお勧めします。
- ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります。
- サンプリングレートやビットレート等により、拡張子が正しくても、全てのファイルが再生できるものではありません。
- microSD カードおよび USB メモリは、4GB～32GB までおよび FAT16、FAT32 のフォーマットに対応しています。
- microSD カードおよび USB メモリは全てのメーカーを保証しているわけではないため、認識しない場合があります。その場合は、microSD カードおよび USB メモリを交換してください。
- USB メモリの過電流が発生した場合、USB ソースが OFF となる場合があります。
- USB 接続口にスマートフォンを接続しても、ソースとして認識はできません。
- USB 接続口にスマートフォンを接続した場合、スマートフォン充電対応ではないため、正しく充電供給できない場合があります。

その他

Bluetoothについて

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周囲の安全を十分に確認した上、通話は手短かに済ませてください。
- 走行中の通話操作やBluetooth機器設定は危険ですので、おやめください。
- 携帯電話接続ケーブルやUSBケーブルなどを使っての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した携帯電話でも、機種により本機との接続や動作に制限がある場合があります。
- Bluetooth機器（携帯電話機）の操作方法については、各メーカーへお問い合わせください。
- 本機とBluetooth機器（携帯電話機）の互換性については、保証しかねます。
- Bluetooth機器側のバージョンにより、接続ができない場合があります。
- Bluetoothオーディオを使用される場合も、あらかじめ本機に機器登録をする必要があります。
- 携帯電話機端末やOSのバージョン等により、各画面の表示や機能、操作等が異なる場合があります。
- Bluetooth 機器を本機で使用するにあたり、Bluetooth 機器内にあるデータやアプリ等が消失した場合やその他損害の補償については責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用した場合については、動作保証外となります。また、アプリのバージョンアップに伴い、従来機能していたものが、機能しなくなる場合があります。
- 無料通話アプリや携帯電話専用の音楽アプリを使用された場合、期待した動作にならない場合があります。これは、本機の故障ではなく、アプリ依存によるものとなります。
- 本機はハンズフリー通話ができますが、電話回線状況や使用する携帯電話機、通話相手の環境等により、エコー（残響音）が発生する場合があります。
- エコーを軽減するには、携帯電話本体の音量調整や本機の通話ボリュームの調整を行なってください。
※完全にエコーを消すことはできません

その他

Bluetoothについて

- 本機とBluetooth機器の接続可能距離は約10mとなります。Bluetooth機器が本機と離れてしまうと、音声等が正しく出力されなくなります。完全に接続圏外となった場合、ペアリングが解除されます。
- 接続圏外になった場合、再度ペアリングを行なってください。
- 接続するBluetooth機器により、接続方法が異なる場合があります。
- 周辺のBluetooth機器を検索する場合は、携帯電話側のBluetooth設定画面を表示させないと接続画面が表示されない場合があります（機器依存）。
- Bluetooth機器を検索する場合、機器や環境等により、検索に時間がかかる場合があります。
- 電話帳・通話履歴表示は、対応外となります。
- ペアリング可能なBluetooth機器の台数は1台となります。
- AVプロファイルの種類やバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。
- ご使用のBluetoothオーディオ機器により、使用できない機能や制限事項があります。
- Bluetoothオーディオ使用中にハンズフリー機能を使用すると、一時的にBluetoothオーディオの機能が中断されます。
- 使用する携帯電話機により、Bluetoothオーディオを使用中はデータ通信ができない場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、ファイルの先頭部分が音切れする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生音が音飛びする場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、選曲操作後、トラックの先頭の出だしが途切れる場合があります。
- 接続されているBluetooth機器によって、再生やトラックアップ/ダウンなどの操作ができない場合があります。その場合は、接続されているBluetooth機器側から再生の操作を行ってください。
- Bluetooth機器側の仕様や操作については、各メーカーや製造元にお問い合わせください。

その他

バージョンアップについて

●性能向上のためのソフトウェアアップデート（バージョンアップ）の提供は、弊社ホームページにて、公開いたします。

<ホームページURL>

innovativesale.co.jp/

製品仕様

品名	2DIN Bluetooth/RADIO/SD/USBメインユニット
品番	BTZ-024
ディスプレイ	液晶(LCD)
SD	microSD(SDHC)
	4GB～32GBまで対応
	FAT16/32
	対応フォーマット:MP3
USB	USB
	4GB～32GBまで対応
	FAT16/32
	対応フォーマット:MP3
Bluetooth	Ver5.0 ※HFP/A2DP/AVRCP対応 ※AUDIO機能:再生/一時停止/ファイルアップ/ ファイルダウンのみ対応 ※電話機能:通話開始/通話終了のみ対応
使用電源	10V～16V 最大動作電流：10A
最大出力	4×40W
動作温度範囲	-10℃～+60℃
寸法	約178(W)×100(H)×148(D)mm
本体重量	約736g
付属品	固定用ネジ(8本)、電源ケーブル、スピーカーケーブル、 取扱説明書、保証書

※本機の仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1
innovativesale.co.jp

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp